

A：専門医申請資格チェック表 (新規申請用-専門医研修機関常勤用)

下記項目のすべてにチェックがされますと、申請することが可能です。

<チェック項目 10箇所>

- 1： 日本国歯科医師の免許を有する者
- 2： 専門医申請時において、継続して5年以上本会正会員である者
注) 会員歴は **OHASYS** で確認してください。
- 3： 本会認定医として、通算2年以上にわたり高齢者に必要とされる歯科医療に関連する診療に従事している者。
- 4： 歯科医師の臨床研修修了登録証取得後、通算5年以上、専門医研修機関に常勤(週3日以上)する者。
注1) 認定医研修機関の研修歴を、3年を上限に認めます。
注2) 専門医関連研修施設での研修期間は、4分3として換算します。
- 5： 本会の定める研修カリキュラムに従い、研修を修了し、高齢者歯科治療の臨床歴を有する者。
- 6： 専門医申請者研修の研修カリキュラム(4項目)を専門医研修機関で履修した者
- 7： 本会学術大会への2回以上の参加
(研修単位管理システムより「研修単位取得証明書」をプリントアウトしてください)
- 8： 本会主催・共催 研修(別表1・1・2)への5回以上の参加
(研修単位管理システムより「研修単位取得証明書」をプリントアウトしてください)
- 9： 医療倫理・医療安全および救急救命に係る研修会に1回以上参加すること
(参加や受講が証明できる資料を添付してください。Eランニング等可。)
- 10： 日本老年歯科医学会における業績(申請前5年間/別刷り等の提出)
 - (1) 「老年歯科医学」または「Gerodontology」掲載論文1編を含む学術論文が2編以上あること
 - (2) 高齢者に必要とされる歯科医療に関連する発表であること
 - (3) 筆頭著者(演者)、共著者(共同演者)は問わない。

11：□ 診療実績（申請前5年間）

高齢者に必要とされる歯科医療に関連する診療実績100例以上を一覧表として報告する。（様式8）

*指導医の証明を必要とする。

12：□ 診療報告（申請前5年間）

高齢者に必要とされる歯科医療に関連する臨床経験のうち、次の項目のいずれか2つ以上に係る臨床経験等の担当例（症例及び事例）を10症例報告（様式9）する。

*指導医の証明を必要とする。

- (1) 高齢者の自立支援に繋がる歯科治療経験
- (2) 摂食機能療法、言語聴覚療法等の口腔機能リハビリテーション
- (3) 歯科保健指導及び予防処置（高齢者施設等で行った指導を含む）
- (4) 全身管理経験（全身疾患に対する把握と対応）
- (5) 通院困難者への歯科的対応（訪問診療・入院患者への口腔機能の維持向上など）

すべてにチェックがされましたら、提出書類の準備をしてください。